

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5355

課題名 : 植物デンプン由来の吸収性局所止血材を用いた乳腺疾患手術に対する止血効果についての研究

### 1. 研究の対象

2020 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに当科で乳腺腫瘍に対して手術療法を受けられた方

### 2. 研究期間

2026 年 2 月 1 日 ~ 2028 年 12 月 31 日

### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2026 年 2 月 1 日

提供開始予定日 : 該当なし

### 4. 研究目的

植物デンプン由来の吸収性局所止血材が、様々な外科領域の手術手技における補助的止血材として、近年活用されています。植物デンプン由来の吸収性局所止血材による術後出血を減らせば、再手術の頻度を減らし安全な治療を提供できるようになるため、その効果について検討します。

### 5. 研究方法

防衛医科大学校病院で 2020 年以降に当科で手術療法を施行した乳腺腫瘍の方を対象に通常診療で得られた診療データベースを用います。

当院では乳腺疾患手術において、2023 年 10 月より植物デンプン由来の吸収性局所止血材を使用しています。使用開始前と使用開始後の手術症例で比較して、術後出血および漿液腫の抑制効果があったかを検討します。

### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報 : 病歴、治療歴、血液検査データ、副作用等の発生状況 等

試料 : 該当なし

氏名、住所など患者さん個人が特定されるような情報は研究に使用しません。

### 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

### 8. 研究組織

本校単独研究

## 9. 研究に関する情報公開の方法

研究結果を発表する際には、患者さん個人が特定できないよう個人情報を加工して公表いたします。

## 10. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は講座研究費です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

## 11. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院乳腺・内分泌外科 若松 克侑  
住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2  
連絡先：04-2995-1511（内線 2356）電話対応時間 9時から 16時  
Gemini8965@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校病院肝胆膵外科 永生 高広